

伊藤道郎 （いとう みちろう） 舞踊家。明治二十六年四月十四日東京神田生れ、昭和二十六年十一月十六日歿（八三—九六）。初のオペラ歌手を志し三浦環の師事。明治四十四年帝劇オペラ「釋迦」が初舞臺。翌年ドイツの渡り舞踊を學ぶ。大正二年ロンドンに移りW・B・イエーツに見出され、その作品「鷹の井戸」を踊り、デビエー。五年アメリカに歸じ、ニューヨークで振附師として乍ら定期的ハリサイタルを開催。またカーネギー・ホール内のレストランを有するなど、アメリカ五大舞踊家の一人に數へられた。昭和十八年歸國。二十一年アーニー・パイル劇場總監督。伊藤道郎舞踊藝術研究所を設立。舞臺美術家伊藤嘉朔、新劇俳優千田是也、畫家中川一政夫人の兄弟等あり。

著書「ロアメリカ」(昭和十五年六月)、「初田書店」、ロアメリカと日本」(昭和二十一年九月)、「百八雲書店」、ロ美しくなる教室」(昭和二十一年十一月)、「百宝文館」等。

